



暮らし、気持ち、ピカピカ 木村石鹸

このお話の主人公は、やさしくて元気っぱいの女の子、そまりちゃん。そうじが苦手で、そうじを楽しくできるようになるために、粉石けん先生のいるそうじ学校に入学することになりました。第2回目の授業では、身近な食べものを使ってそうじにチャレンジします。



そうじに使える身近な食べもの



【レモン】

すっぱい=酸性

レモンを思い浮かべると、口がすっぱくなるでしょう？ このすっぱい成分が「クエン酸」。クエン酸は酸性だから、水あかや石けんカスなどのアルカリ性の汚れを落とすんだ。



【じゃがいも】

ぬめり VS サポニン

じゃがいもの皮に含まれる「サポニン」は、市販の石けんに使われている界面活性剤のはたらきによく似ているんだ。皮の内側の白い部分でシンクをみがくと、ぬめりがよくとれるよ。



【大根】

シミ抜きにはジアスターゼ

大根に含まれている「ジアスターゼ」には、洗浄作用があるんだ。カーペットにシミができたなら、大根をおろしてガーゼにつつま、シミを軽く叩いてみよう。汚れが落ちるよ。



【オレンジ】

油となかよし

オレンジの皮はとってもいい香りがするね。皮に含まれている「リモネン」は、油となかよし。油性ペンや油汚れを落としたり、はがしたシールのベタベタを溶かししたりすることができるんだ。



【たまねぎ】

ドイツの家庭の知恵

たまねぎの茶色い皮は、弱酸性。ドイツに伝わる家庭の知恵で、鍋がこげってしまったら、水と一緒に鍋に入れて煮込むんだ。溶け出した弱酸性の成分が、鍋のこげをはがしてくれるよ。



【たまご】

天然のクレンザー

たまごの殻を細かく砕いて、少量の水を加えてみぐくとクレンザーのような効果があるんだ。ティーポットやマグカップについた茶渋や水アカがとれ、買ったときのようにピカピカに。

汚れの種類

お店で売られている洗剤には、たくさん種類があるね。汚れの種類によって、使う洗剤も変わるんだ。毎日簡単にできるそうじの方法を伝授するよ!

① アルカリ性の汚れ

水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分が乾燥・固化した水あかや、石けんカス。

場所：浴室、シンク、トイレ
そうじ方法：クエン酸水をスプレーして、軽くこすり洗い。

② 酸性の汚れ

台所周辺の油汚れ、人体から出る皮脂汚れ、血液や水あか。

場所：シンク、ガスコンロ、ソファ、布団、洋服、カーペット
そうじ方法：重曹水をスプレーして、軽くこすり洗い。

③ 物理的な汚れ

ちりやほこり、泥など、生活のいろんな場所で発生する汚れ。

場所：テレビ、机、棚、窓ガラス、運動靴、体操着
そうじ方法：ちりやほこりは乾いたぞうきんでふいて、仕上げに水ぶき。泥汚れは部分洗い洗剤や過炭酸ナトリウムで洗濯。

④ カビや細菌、微生物による汚れ

湿気が多く、換気が悪いところに発生するカビ、微生物やその死骸による汚れ。

場所：浴室、洗濯槽、下駄箱、畳、布団、カーペット、ベッド
そうじ方法：繁殖したカビはクレンザーや漂白剤で落とす。窓を開けて換気をするなどして、カビや菌が繁殖しない環境をつくる。



イラスト：多田玲子 写真：福田真知子

くらし、気持ち、ピカピカ 木村石鹸

石けん一筋で90年

木村石鹸は、大正13年創業の老舗石けん・洗剤メーカー。利便性と安心・安全を考え、家庭用から業務用分野まで、ユニークでさまざまな商品を開発しながら、創業以来、「釜焚き製法」にこだわり、今なお職人が手作業で石鹸の製造を続けています。成分や素材も厳選し、子どもから大人まで安心して使えて、自然にもやさしく効果が高い、そんな商品づくりを心がけています。

あったらいいなを商品化! C SERIES (Cシリーズ)

Cシリーズはかゆいところにも手が届く、ニッチな商品をラインナップしたシリーズです。気張ることなく自然に日常使いができるように、白を基調としたすっきりとした佇まいに。創業以来、真面目にコツコツ続けてきた90年分の気概や誇りを高い品質に変えてお届けします。



自動製水機の洗浄剤
200ml
¥780 (税抜)



お風呂まるごと洗浄剤
300g
¥780 (税抜)



トイレタンクの洗浄剤
35g × 8包
¥980 (税抜)

【お問い合わせ】 木村石鹸工業株式会社 ☎ 072-994-7333 www.kimurasoap.co.jp